上小Ｐ連だより

第 73 号
発行日
平成 31 年 3 月 1 日
発行所
上小 PTA 連合会
発行人
中垣　交造

上小ＰＴＡ連合会研究集会

上小ＰＴＡ連合会会長
中垣　交造（清明小）

九月一日、上小ＰＴＡ連合会研究集会が、丸子中学校で開催されました。「子どもと向き合おう　学校で学び合おう　地域ぐるみで育もう」を全体テーマに、二百名を超える皆様にご参加いただきました。

講演会では、兵庫教育大学教職大学院の小西哲也先生を講師にお迎えし、学校と地域の関わり方についてご講演をいただきました。子どもたちのために学校を良くし元気な地域をつくりたい志を持った人々が、他人任せではなく当事者として行動する。それが地域と共にあるコミュニティ・スクールであり、ここで子どもたちは生きる力を身につけ、自分自身に自信をもち、赤ちゃんから老人までの様々な世代の地域の人々と関わりを持ちながら、地域の人々と共に成長していく。このような講演内容に、コミュニティ・スクールの大切さを再認識させていただきました。

分科会では、六つのテーマに分かれて行われました。発表校の研究報告レポートを土台とし、参加者の間で議論が交わされました。普段なかなか交流することのない他校の取り組みや考え方を知る、大変良い機会となりました。この分科会で参考となった事は自校に持ち帰り、生かしていってもらいたいと思います。

終わりに、丸子中学校の皆様、丸子ブロック各校の皆様には準備・運営にたいへんなご尽力をいただき、有意義なすばらしい研究集会を開催することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

基調講演会

「これからの時代の学校
～学校は地域の教室、授業は地域の文化～
兵庫教育大学教職大学院　小西　哲也　先生

進行を任されておりましたので、緊張して受講に望みましたが、冒頭からウィットに富んだ語り口で引き込まれました。また塩田西小学校の学区である別所温泉にお泊りとのことでうれしく思いました。

ＡＩ化、少子高齢社会、グローバル化など、様々な課題がある中、教育の重要性を再認識しました。特に印象に残ったのは、「これからの時代に求められる力」とは、社会性、総合力の中のＩＱ、学力、コミュニケーション力、記憶力等の認知能力よりも非認知能力が重要、中でも自制心（セルフコントロール）、やり抜く力（グリット）を育てることが大切で、子どもの社会性「生きる力」を育てるには、授業だけではなく、学校を中心に地域、家庭が連携し、子供たちが、**大人と交流・協働**出来る仕組み、**大人ってすごい**」と認識できる仕組み、**見守られている**と実感できる仕組み、**大人の学びや助け合う姿**を直視できる仕組みなど、「子どもたちの為に」が目的のＰＴＡがより具体的に、無理なく、自然に健全な組織で在るためのヒントがあると感じました。

上小ＰＴＡ連合会副会長　北沢　健（塩田西小）

分科会に参加して

上小ＰＴＡ連合会東御ブロック長
安原　武志（北御牧中）

私の参加した第四分科会では、上田第四中学校ＰＴＡ小林さんより“ＳＮＳ等のメディアの適切な活用と安全なつきあい方の学習を通して”と題するスマートフォン等のメディア機器を利用するにあたり、上田第四中学校で行っている学習会やアンケート調査についての発表がありました。数年前までは、ネットに繋がるパソコンやスマートフォンを使用する場合は、親が子供の使用する時間や場所を管理し有害サイト等から守る必要があると言われていましたが、現在の中学生の大半はスマートフォン等のネットに繋がる機器を個人所有しているため、親が管理することは難しく、学習会等で子供達自身が危険性や適切な使い方を理解しメディアと安全なつきあいをしなければならないとのことでした。また、発表後のグループ討議では、各小中学校の状況や意見を聞くことができ勉強になりました。準備から、発表まで当番校のＰＴＡ役員並びに先生方の皆様、色々とありがとうございました。

ＰＴＡ研究大会より

日本ＰＴＡ全国大会
新潟大会に参加して

上小ＰＴＡ連合会会長　中垣　交造（清明小）

八月二十四日・二十五日の二日間にわたり、第六十六回日本ＰＴＡ全国研究大会が新潟で開催されました。初日は新潟県の十カ所で分科会が行われました。私は、洋食器などの金属加工産業が有名な燕三条で行われた、「家庭教育」をテーマとした第二分科会に参加してまいりました。燕市立吉田中学校のカラーガード部の歓迎アトラクションから分科会が始まりました。

基調講演は、麗澤大学学長で道徳科学教育センター長の中山理先生による「子どもと共に幸せな家庭を築くために　グローバル化と人生百年の時代を迎えて」と題した講演でした。ＡＩ化、グローバル化、少子高齢化など、大きな変化が起こりうる未来社会では、道徳教育を通して子どもが幸福感を得られることが重要となります。それには家庭での親子のつながりが大切で、親自身が幸せに生きる態度を見せることにより、子どもは親の言動を通して自分とは何か、社会とは何かを学び、その通りに人生を生きていく。以上のような内容の講演をいただき、改めて親と子のつながり、家庭教育の大切さを再認識しました。

またパネリストの方々の実践発表での、「味方になりきるコミュニケーション」や、子どもが詠んだ上の句に対して親が下の句を返す「親守詩」など参考となりました。

二日目の全体会は、長岡で行われました。ダンスや書道のパフォーマンス、吹奏楽部の演奏の歓迎アトラクションから始まりました。記念講演では、演題「夢を追いかけつかんだ俳優人生」、地元の三条市出身の高橋克実さんによる、アナウンサーとの対談形式の講演でした。地元で生まれ育った幼少期や、上京するまでの学生時代、俳優としての下積み時代、仕事での裏話など、地元愛にあふれたユーモアのある楽しいお話をうかがいました。最後に、来年度開催地の兵庫県のＰＴＡの方々が次回大会のアピールをして終了となりました。

二日間を通して、地元ＰＴＡの方々の裏方の様々な活動に感心しました。本当に御世話になりました。そして、あまりできない貴重な経験をさせていただきました。充実した二日間でした。

日本ＰＴＡ全国大会

第二分科会「家庭教育」に参加して

上小ＰＴＡ連合会副会長　北沢　健（塩田西小）

はじめに、大会二日目の八月二十五日は所属小学校にてＰＴＡ環境整備作業が在りましたが、会員の方の支援により、今大会に出席出来たことを感謝いたします。「ＰＴＡは期間限定の特権である」昨年度の分科会の一つ「組織運営」の中で論じられた特権の一つと捉え、高揚感を持って参加させて頂きました。分科会は十三時～十七時までの長丁場でしたが、何度も頷いたり、思案を巡らしたりしている内に時間が過ぎていきました。特に印象深かったのは「子どもとともに幸せな家庭を築くために～グローバル化と…（省略）」と題した講演で、モラル教育と子供たちの将来の幸福の関係性や、感謝の心と幸福感の関係性について科学的データ、学問的研究発表されているものを基に分かり易い解説を拝聴出来たことです。自分なりに解釈すると今後ＡＩ化、グローバル化、少子高齢社会など今までの常識が通用しない変化がおこる中、「家庭教育」において「生き抜く力」を身につけさせるには「道徳教育」が有効。道徳教育について論じられている中で心に刺さったものを紹介します。

家庭での四つの躾（嘘をつかない、他人に親切にする、ルールを守る、勉強をする）

道徳教育本来の道徳とは子どもと他者との「より良き関係性の構築」にある、個人主義・利己主義自己中心的な欲望を価値観の多様化としていないか？過保護、親の価値観を押し付けていないだろうか？

幸福度を決める要因は自分の能力（「自立する力」自己への信頼、自発心、自尊心など）を発揮出来て、それが他の人のため（「他者と共存する力」共感力、協調性、利他性など）になること。

どうしたら自尊感情は育つか？自己形成に影響する三つの要因　モデリング（手本になる）、体験による気づき、他の評価・承認による気づき（内容を添えて褒める。）

最後に、肝に銘じておきたい事柄、親として与えられるものは何か？「重要な他者」＝愛情もって接してくれる人の存在を示すこと、「親自身、幸せに生きているという態度を見せる。」（親の言動をとおして自分とは何か、社会とは何かを学び、その通りに人生を生きていく。）

追記、この原稿を書いている隣で子どもの表情がうれしそうに見えます。

子育て委員会交流会

上小ＰＴＡ常任子育て委員会副委員長
佐藤　達也（神科小）

子育て委員会では、上小地区各校の代表の方にご参加いただき交流会を二回（六月、十二月）行いました。交流会は「陽だまりカフェ」というネーミングで行っていて、子育てに関するいろいろなテーマについて、五～六人の小グループに分かれて一つのテーブルを囲み、お茶を飲んだり、お菓子を食べたりしながら、ワイワイ、ガヤガヤと楽しく意見を出し合いました。

毎回、四つのテーマがあり、一つのテーマにつき二つのグループ、全部で八つのグループに分かれておしゃべりをします。時間は一回、二十分。参加者全員が四つすべてのテーマについて話せるように四回行います。

この「陽だまりカフェ」は話をするうえで、やり方、ルールが少しだけあります。まず、テーブルの中央に模造紙を一枚おきます。真ん中にマジックでそのテーブルのテーマを書きます。そしてテーブルについたみなさんの前にはお茶とお菓子、そして付箋紙とマジック。各テーブルには、「オーナー」と呼ばれる進行役の人がいて話のきっかけを作ってくれます。各自自由に日頃思っている意見を言って、それを付箋紙に書いて模造紙に貼っていきます。周りの人たちもそれに対して、自然にいろいろと意見が出てきます。出された意見は誰も否定してはいけません。また正解もなければ結論も出しません。みんなが自由に意見を言って、周りの人の意見も大切に聞く、これがルールになっています。

さて、今年の交流会のテーマをご紹介しましょう。

《第一回交流会》
・地元のおすすめスポットをおしえて！
・ネットの利用。ゲーム、ＳＮＳ
・コミュ力、折れない心
・先生の働き方改革

《第二回交流会》
・子どもの好きな料理
・ＳＮＳ、ＬＩＮＥ、ネットとの安全な付き合い方
・先生の働き方改革
・自己肯定感どう育てる？

どれも保護者のみなさんがちょっと気になるテーマかと思います。（ダブっているのもありますが、旬な話題、関心が高い話題ということで）どのテーブルでも、みなさん日頃感じていることがどんどん出てきて、また他の方の意見に同感、意外、なるほど、すばらしい！と感じて、大変熱のこもった話し合いが自然とできました。実際に参加してみないとこの楽しい雰囲気、充実感は伝わらないかもしれません。せっかく好評なこの「陽だまりカフェ」ですので、より多くの人に参加してもらおうと、二回目の交流会は初の試みとして、真田ブロックをメイン地区として行われ、普段は役員さん中心の交流会なのですが、真田ブロック内の各小中学校から一般の保護者の方も含めて（また、他のブロックの役員さんも）大勢の方に参加していただきました。来年以降もより多くの保護者のみなさんにご参加いただいて、子育てについての意見交換ができるといいなと感じました。

この交流会の方式は、みなさんの学校でも学級ＰＴＡや役員会などで意見を引き出すやり方として役立つと思いますので、ぜひ活用してみてください。

平成三十年度上小ＰＴＡ連合会の活動を振り返って

上小ＰＴＡ連合会会長　中垣　交造（清明小）

今年度は昨年に引き続き、「学級ＰＴＡの充実を目指し、全四十七単位ＰＴＡが結束しよう。」をスローガンに、一年間メンバーが一丸となって活動してまいりました。上小地区の他団体との連携や、県ＰＴＡ連合会への参加を通して、子育て・地域とのつながり、ＰＴＡ活動のあり方など、様々な課題について考え議論し、意見交換や情報共有をすることができました。

例年の活動を踏襲する中で、新しい試みを行いました。年二回開催される子育て交流会のうち、一回をブロック開催としました。今年度は真田ブロックでしたが、例年より一般のＰＴＡの会員の皆様の出席が多くなり、特に父親の皆様の出席が増え、実りある子育て交流会となりました。

この一年間、「全ては子どもたちのために」という思いで活動してまいりました。正直、たいへんなこともありましたが、貴重な経験をさせていただきました。終わりに、支えていただいたＰＴＡの会員の皆様、常任委員の皆様、副会長、顧問、事務局の小林先生、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

三役会のまとめ

上小ＰＴＡ連合会顧問　吉澤　勝雄（丸子中央小）

正副会長、顧問、事務局で構成される三役会では、上小Ｐ連各委員会による活動事業である単位ＰＴＡ会長・常任合同会、子育て委員会交流会、研究集会について、各委員会での協議が円滑に進められるよう、常任委員会の開催直前に行ってまいりました。

私は常任委員→会長を経て今年度は顧問として一年間活動してきました。常任委員当時は右も左も分からない状態でしたが、活動三年目ともなると経験が豊富になり、また視野も広くなってきたことで、冷静に周りを見渡すことができるようになりました。

今年顧問としての活動は、「繋がり」を念頭にお き、上小Ｐ連が他郡市ＰＴＡや県ＰＴＡと連携を図る為のパイプ役として、各地で開催される講演会やイベントへの参加、更には子ども達や保護者が抱えている諸問題について情報交換するなどを活動の中心としてきました。

ＰＴＡ役員には様々な職種・立ち位置・年齢の方がいます。その方々と意見交換や交流をもつことができたことは、私の生涯において貴重な経験・財産となりました。また、自分が人として、親として成長でき、何枚もの自分の殻を脱ぐことができました。役員の経験は子育て・親業に必ず役立ちます。

ＰＴＡ会員の皆さん、これからも将来を担う子ども達の為に一緒に頑張りましょう！

一年間ありがとうございました。

子育て委員会のまとめ

上小ＰＴＡ連合会　子育て委員会委員長
上小ＰＴＡ連合会副会長　小林　恵（長小）

子育て委員会では、今年度も二回の交流会を行いました。第二回の交流会は初の試みとなるブロック開催とし、上小地区の小中学校の代表の皆様には、お忙しい中ありがとうございました。

交流会では、初対面の方同士でも直ぐに緊張を解きほぐせるものとして「アイスブレイキング」を行い、その後、四つのテーマに別れ、お菓子を食べたり、お茶を飲んだりしながら意見交換をする『陽だまりカフェ』を開催しました。

二回の交流会を通して、皆さんからは「悩むことは皆同じで、一人じゃないと感じた」「人見知りだが、リラックスして参加できた」「今後、学校で参考にしたい」等の感想をいただき『陽だまりカフェ』の魅力を感じていただけたと実感しています。

この一年、私自身のテーマは「学びの一年、横の繋がりを大切にしよう！」でした。改めて「子育ては、一人ではなく共有してやっていくもの」「人との繋がりが大事だ」と気づかされ、学ばせていただきました。上小ＰＴＡ連合会で経験したことは、私の人生において、貴重な財産となりました。今後の人生に、繋げていきたいと考えております。

今まで支えて下さった事務局、常任委員、ＰＴＡ会員の皆様、一年間本当にお世話になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

研究・広報委員会のまとめ

上小ＰＴＡ連合会副会長
田中　浩寿（豊殿小長）

一　上小Ｐ連研究集会の開催

九月一日（土）丸子中学校にて「子どもと向き合おう　学校で学び合おう　地域ぐるみで育もう」のテーマのもと、二百余名の参加者が学び合いました。

全体会では、文部科学省のコミュニティスクールマイスターでもある兵庫教育大学教職大学院教授の小西哲也先生に『これからの時代の学校～学校は地域の教室、授業は地域の文化～』と題してご講演いただきました。今回は上田市内の各学校でコミュニティスクール応援団リーダーとしてコーディネートしてくださっている方々数十名も、ＰＴＡ参加者と一緒に講演を聴きました。全国的なコミュニティスクールの動向や、先生の実践に基づいた具体的なお話を伺い、これからさらに推進していくために大変参考になりました。

分科会では一昨年度より分科会数を六つに減らして発表校のレポートに学んでいますが、どの分科会も熱心な情報交換等がなされ、共に多くのことを学び合える分科会となりました。また、他校の様子を知ることができて大変参考になったという感想が多くありました。参会の皆様のご協力により、充実した研究集会になりました。ありがとうございました。

二　「上小Ｐ連だより」の発行

昨年度と同様に、年二回発行しました。見やすさ・読みやすさ等に配慮しながら、活動内容や執筆者の思いが、読んでくださる方々に伝わるように工夫しました。お読みになったご感想を各学校ＰＴＡ幹事か上小Ｐ連事務局にお寄せください。